

躍進・飛躍の年へ 新年の挨拶

日本新総合空手道連盟
国際柔拳道 無名塾
空手道 塾長 佐上武則

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成20年に発足した日本新総合空手道連盟ですが、遠距離ということもあり、活動らしいこともできず、皆様にご迷惑をかけておりますこと、申し訳なく思っております。これからの時代、一道場だけではカバーしきれない現状の中にあつて、各流派がなかなか破ることの出来ないしがらみを取り払い協力し合うことは、これからの空手界を担う若い道場生達の未来の為だと思えます。そのためには、皆様の協力があればこそ、実現するものと信じております。

沖縄正統空手道
遠山流道心館
範士十段 館長 石田健親

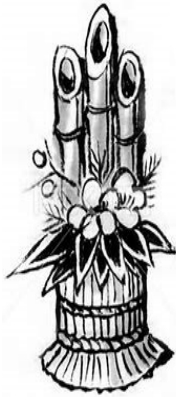
新年あけましておめでとうございます。輝かしい新年を迎えられたことと思えます。

さて日本新総合空手道連盟の発足において藤谷先生との出会いは、十六年前無名塾主催の空手道大会が縁で、佐上先生から紹介されたのが始まりでした。小安先生とは、養秀会(山元勝王宗家)の大会で、私が沖縄名人遠山寛賢先生の流れということで、藤谷先生から紹介があり、今日の連盟の立ち上げに至りました。沖縄の歴史の中で生まれた空手道によって、このような素晴らしい連盟が出来たことうれしく思います。

今一度我々自身が、基本に立ち返って志を共有し、出来ることから着実に取り組み、今年も頑張つて行きたいと思えます。今年が連盟にとって、躍進の年になるよう祈念致します。

さて無名塾においては、昨年の創立30周年記念を皆様の協力の元、盛大に開催することが出来たこと、心より感謝申し上げます。今後は今までの歴史を築いてくれた人たちに感謝しながら、新たな歴史を次の人達に喜んで渡せるように、努力精進していきたくと思っております。又新たな挑戦にも、これまでと変わらずやつて行こうと思っておりますので、皆様のご支援・ご協力よろしくお願ひ致します。

連盟にとつても無名塾にとつても、躍進の年となることを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



「継続は力なり」という格言がありますが、困難さと忍耐力を養う武道を、奥深いものがあります。弱音を吐かず、体力と気力を充実させて鍛えぬき、世の中に役に立つ人間になることを大前提にして、体力の強健さはもちろんの事、それにも増して何事にも動じない、くじけない、負けない心を持つ事が、空手の道を窮める為の要因になってきます。将来を担う子供たちが、良い魂を持ち、社会に貢献できる人物を、連盟として応援していくことを約束し、新年の祝辞といたしたいと思います。

総流空手道 総流館
宗家 小安孝道

新年あけましておめでとうございます。念頭に当たり日本新総合空手道連盟の発展と皆様の健康をお慶び申し上げます。

琉球武術が沖縄から日本本土に紹介され、日本の風土の下で空手道と呼ばれるようになって約100年が経過しました。この空手道は、100年の間にフルコンタクト空手の台頭もあり、格闘技としての空手、スポーツとしての空手、伝統としての空手、武道としての空手など、その目的により様々に形を変えて現在に至っております。

日本実践空手武道 空心塾
宗家 藤谷信司

新年あけましておめでとうございます。謹んでお慶び申し上げます。

昨年度は、無名塾30周年等々、大変お世話になりました。思えば佐上塾長と出会い月日が経つのも早いもので17年になります。平成20年5月に日本新総合空手道連盟を立ち上げ約10年になります。遠山流空手を習得され、今尚沢山のお弟子さんに伝承なされている範士石田健親館長、各流派の独特な技を取り入れた総流空手道連盟三代目宗家小安孝道先生、サバキ、フルコンタクト空手を習得し、古流空手をも修行なされる範士佐上武則塾長、この素晴らしい先生方と連盟を立ち上げた事は、私にとって財産だと思っております。

更に、2020年にはオリンピック競技種目となったことで新しいかたち、目的も生まれるのではないかと考えられます。琉球武術という空手の原形が時代の変遷と共に、その目的の違いにより様々にその形を変えている現在、空手道として何が正しく、何が間違っているのかの判断は容易なことではありません。このように混沌とした空手界において、日本新総合空手道連盟が果たさなくてはならない使命は誠に大きなものではないかと考えます。

日本新総合空手道連盟が佐上会長を中心に、真の空手道を目指す連盟となることを確信し、微力ではありますが協力を惜しまない事をお誓いして新年の挨拶に代えさせていただきます。



各道場の指導員の皆様、保護者の皆様の団結力、ご協力も大変感服いたしております、皆様方のお力添えなくしては何も出来ないと思えます。私も武道を習い48年になりますが、まだまだ未熟者ではありますが、諸先生方に早く追いつく事を目標にしたいと思えます。

最後に皆様方のご健康と良い一年でありますようお願い申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。